

今後の進め方について

- 東日本大震災後、伊勢湾内の各港において地震・津波対策検討会議を設立し、平成23年度には各港毎に緊急的に取り組むべき地震・津波対策についての基本方針を策定し、平成24年以降、対策の推進を図ってきた。
- 上記会議と併せて設立した「中部の港湾における地震・津波対策に関する懇談会」では、静岡県内の津波対策検討会議及び各港地震・津波対策検討会議等の情報共有及び広域的課題検討への助言を得ることを目的に、検討を進めてきた。
- 法体系など政府の取り組みも整備されてきたため、平成26年度中に予定している各港の港湾機能継続計画(港湾BCP)および伊勢湾の港湾機能継続計画(伊勢湾BCP)の策定を節目として、各港の地震・津波対策の中間レビューを行う。
- 駿河湾港の地震・津波対策について、平成25年度中に策定予定の「駿河湾港整備基本計画」「防災・危機管理」として取りまとめを行う。
 なお、駿河湾港の機能継続計画(港湾BCP)については、各港のBCP協議会において検討を行っており、平成25年度中に避難誘導計画や機能復旧の管理者(案)を策定し、平成26年度に関係者と協議・調整を図り取りまとめる予定。
- 各港の地震・津波対策検討会議および中部の地震・津波対策に関する懇談会は、地震・津波対策についての最新の知見や取り組みの進捗状況等を各港の関係者間で共有し、官民連携して着実に港湾の地震・津波対策を推進していくため、今後も定期的に開催する予定。

<スケジュール(予定)>

